

## インフルエンザ流行注意報発令中

横浜市では、令和7年第43週（10月20日～10月26日）の全市集計において、インフルエンザ注意報発令基準（1定点医療機関※1 当たり1週間の患者報告数10.00人）を超え、「11.07」となりましたので、インフルエンザ流行注意報を発令しました。年齢別では、10歳未満の報告が全体の51.5%、15歳未満の報告が全体の79.1%となっています。

市民の皆さま一人ひとりが早めに予防策を取りましょう。

※1 定期的にインフルエンザ患者発生状況を報告する医療機関（市内90か所）

令和7年4月7日から定点医療機関数に変更があったため、変更前に使用していた基準を参考としています。

## 市内定点当たりの患者報告数

年・週	期 間	患者報告数（人）（※2）	備考
令和7年第40週	9月29日～10月5日	2.89	
第41週	10月6日～10月12日	5.13	
第42週	10月13日～10月19日	5.44	
第43週	10月20日～10月26日	11.07	注意報

※2 患者報告数は医療機関からの追加報告により、数値が変動します。

【参考】横浜市感染症情報センターWeb ページ

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/eiken/idsc.html>



## インフルエンザにかからない、うつさないためのポイント

流水と石けんによる  
こまめな手洗い

布やティッシュ等で  
鼻と口をおさえる  
(咳エチケット)

室内のこまめな  
換気

十分な休養  
バランスのよい食事

室内を適切な湿度  
(50～60%) に保つ

## インフルエンザにかかったかもしれないと思ったときは

- ☐ 人混みへの外出を控え、無理をせず十分に休養をとりましょう。
- ☐ 高熱が続く、呼吸が苦しい、意識状態がおかしいなど、具合が悪ければ早めに医療機関を受診しましょう。
- ☐ 乳幼児や高齢者、妊婦、免疫力の低下、基礎疾患のある方は特に重症化しやすいため、心配な場合は早めに医療機関を受診しましょう。

## インフルエンザの予防接種

- ☐ 重症化予防のため早めに予防接種を受けましょう。（高齢者インフルエンザ予防接種は10月から開始しています。）

【参考】厚生労働省 Web ページ 「インフルエンザ（総合ページ）」

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuenza/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuenza/index.html)



## お問合せ先

（感染症対策全般について）医療局健康安全課長	竹澤 智湖	Tel 045-671-2442
（感染症発生動向について）衛生研究所感染症・疫学情報課長	横山 涼子	Tel 045-370-9279

# 横浜市インフルエンザ流行情報

横浜市医療局健康安全課／横浜市衛生研究所

<<トピックス>>

## 流行注意報が発令されました

### 【第 43 週(10 月 20 日～10 月 26 日)の概況】

- ✓ 定点あたりの患者報告数※<sup>1</sup>は、横浜市全体で 11.07 となり、流行注意報の発令基準 10.00 を超えました。
- ✓ 年齢別では、15 歳未満の報告が全体の 79.1% を占めています。
- ✓ 学級閉鎖等は、小学校を中心に 47 施設、患者数は 625 人です。

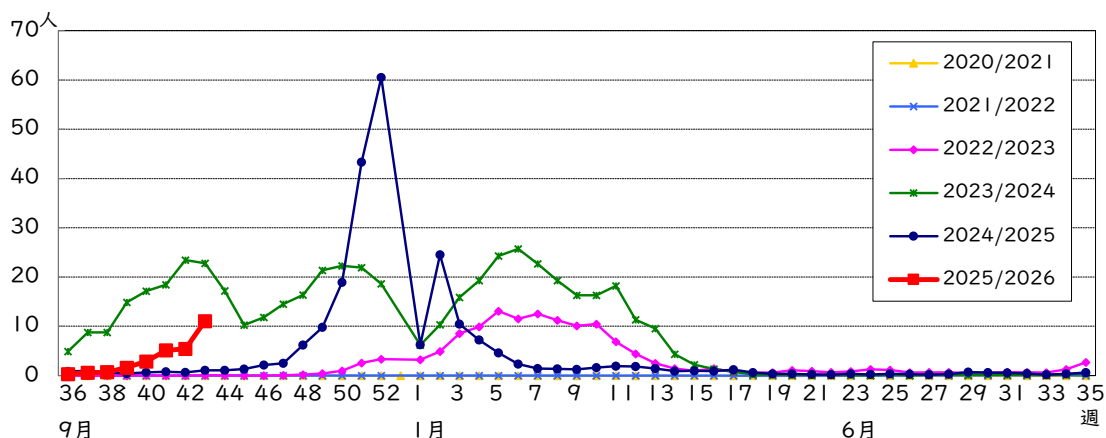
 咳エチケットや正しい手洗い※<sup>2</sup>等でインフルエンザを予防しましょう。

※<sup>1</sup> 定点あたりの患者報告数とは、1 週間に 1 回、定期的にインフルエンザ患者発生状況を報告していただいている医療機関(市内 90 か所)から報告された患者数の平均値です。

※<sup>2</sup> [令和 6 年度インフルエンザ Q&A \(厚生労働省\)](#) に、インフルエンザの予防方法等について掲載されています。

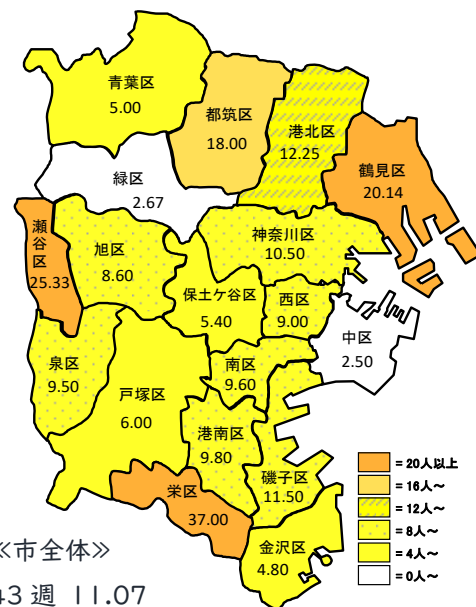
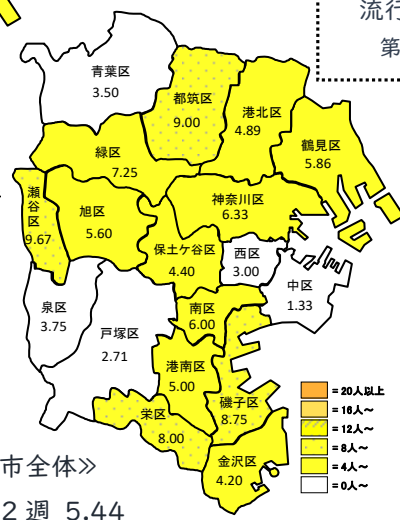
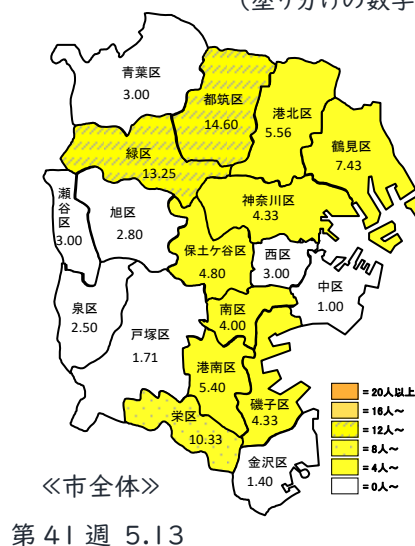
### 【市内流行状況】

市全体の定点あたりの患者報告数は、第 37 週(9 月 8 日から 9 月 14 日、定点あたり 0.59)以降、増加傾向が続き、9 月下旬に流行開始期に入りました。第 43 週は 11.07 となり、流行注意報の発令基準(10.00)を上回りました。



## 【地図で表した直近3週間の区別流行状況】

(塗り分けの数字は定点あたり報告数)



## 【参考】

直近流行(2024/25シーズン)の流行推移

流行の開始【定点あたり1.00以上】

第43週(2024年10月21日~10月27日)

流行注意報発令【定点あたり10.00以上】

第50週(2024年12月9日~12月15日)

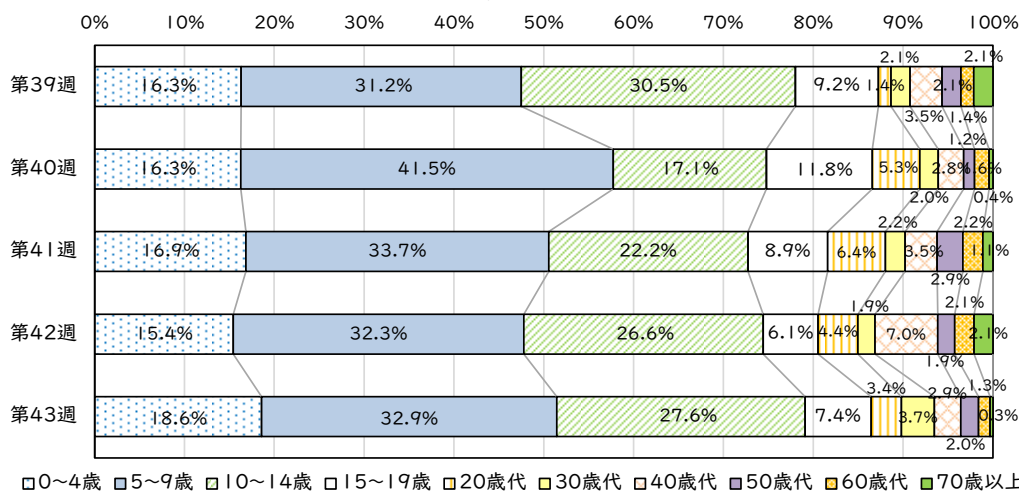
流行警報発令【定点あたり30.00以上】

第51週(2024年12月16日~12月22日)

## 【年齢層別集計】

第43週の患者年齢構成は、10歳未満が51.5%、10歳から15歳未満が27.6%で、15歳未満が全体の79.1%を占めています。

<年齢層別患者割合>



※ 小数点以下第2位を四捨五入するため、計と内訳の合計が一致しない場合や構成比の内訳の合計が100%にならない場合があります。

最新の感染症情報はこちら



横浜メディカル  
ダッシュボード



衛生研究所  
インスタグラム

【お問い合わせ先】

横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課

TEL 045(370)9237

横浜市医療局健康安全課

TEL 045(671)2463